

第3回 新居浜市山田社宅保存活用計画策定委員会 会議録

日 時：平成30年8月3日（金）13：30～16：10

場 所：新居浜市役所 大議室

出席者 委員 3人

末岡 照啓 委員長、矢ヶ崎 善太郎 委員、清水 真一 委員

花岡 直樹 委員欠席

関係課 2名

広瀬歴史記念館 久葉

建築住宅課 高須賀

事務局 4名

原企画部長、企画部別子銅山文化遺産課 秦野、藤田、濱岡

受託者（保存活用計画策定業務）2名

住友林業ホームテック株式会社 大澤 康人、神野 賢

文化庁の定める「登録有形文化財建造物修理の設計監理にかかる技術指導」者

株式会社文化財構造計画 富永 善啓

傍聴 1名 愛媛新聞

議 題 前回までの経過報告

(1) 社宅の価値と保護の方針について

(2) 周辺整備について

(3) 保存活用計画（案）について

(事務局)

定刻となりましたので、ただ今から、第3回山田社宅保存活用計画策定委員会（以下「策定委員会」）を開会いたします。

まず、本日の策定委員会は、花岡直樹委員が体調不良のため欠席しておりますが、山田社宅保存活用計画策定委員会設置要綱（以下「要綱」）第6条の規定により、委員の出席者が過半数を超えておりますので、委員会は成立しております。

それでは、要綱第6条の規定により、議事進行を委員長において、お願いいたします。

(委員長)

それでは、山田社宅保存活用計画策定委員会を開会いたします。

まず、本日の会議の公開についてであります。事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

新居浜市審議会等の公開に関する要綱第3条に基づきまして、原則公開となっております。ただし、各法人・団体・個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害すると認められる場合は非公開となります。各委員の研究中の事例等の未確定な事例等も取り上げられる場合は非公開となります。今回の審議内容については、事前に各委員さんに照会したところ、「各委員の研究中の事例等、未確定な事柄」が含まれるということでもあります。

(委員長)

それでは、委員の皆さんにお伺いいたします。本委員会は、冒頭の経過報告のみ公開とし、各議題の審議については、各委員の研究事項・事例等が含まれるということから、非公開として取り扱うことでよろしいでしょうか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

今回は、冒頭の経過報告までの公開といたします。

それでは、前回の会議の経過について、事務局から報告をお願いいたします。

(事務局)

前回の議題1 社宅の価値と保護の方針については、社宅の価値はどこにあるのか、何を保存すべきなのか、主に次の点について議論いたしました。

- ・歴史的価値、社会的・地域的価値、建築的価値などの明確化がほしい。
- ・各棟の価値を踏まえ、保護の方針を再度検討する。
- ・歴史的にも会社の名称を何回か変更している中で、社宅自体会社の名称の変更を踏まえたものにするため、歴史的な資料に基づいて名称を決定する。
- ・どこの時代に価値を見出し、どういう時代で保護していくのか。
- ・地区全体での価値—各種インフラ、総戸数図示、航空写真盛り込んだ中で全体の価値を表現すべきである。

次に、議題2 保存活用計画（案）については、前回、時間の関係から十分な提示となっております。今回、細部まで確認いただければと思います。

もう1点、全体西洋社宅耐震補強案と活用方法については、耐震補強案について、再度検討することになりました。西棟・東棟活用案提示については、市民意見を踏まえ活用案をお示ししました。

前回の議論に基づいて、今回は、再度提案させていただきたいと考えております。

以上です。

(委員長)

前回の会議については、以上のような経過です。

何かご意見、ご質問はございませんか。

なければ、「議題（１）社宅の価値と保護の方針について」に入ります。

これ以降については、非公開といたしますので、傍聴者の方は、御退席をお願いします。

（傍聴者：退場）

（非公開部分）

閉 会